

ひょうご豊かな海づくり県民会議総会・講演

日時：令和6年5月21日（火） 13：30～

場所：兵庫県立兵庫津ミュージアム

ひょうごはじまりの館3階研修室（WEB同時配信）

《 第2回 総会 》

<議 題>

第1号議案【資料1】

ひょうご豊かな海づくり県民会議 令和5年度事業報告及び収支決算（案） 1～11

第2号議案【資料2】

ひょうご豊かな海づくり県民会議 令和6年度事業計画及び収支予算（案） 12～14

<報告事項>

令和5年度活動実績、令和6年度スケジュール及び資料【資料3】 15～19

《 特 別 講 演 》

演題：兵庫県民の栄養塩類管理施策に対する意識と

出前おさかな講習会が小中学生の海に対する考え方に与える影響

講師：上原 拓郎 立命館大学政策科学部教授

内容：「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」が豊かな海づくり啓発活動として県内小中学生に実施している出前おさかな講習会が、海に関する知識、態度、行動に与える影響についての研究結果報告



ひょうご豊かな海づくり県民会議ロゴマーク

ひょうご豊かな海づくり県民会議 令和5年度事業報告（案）

1 活動方針

令和5年7月27日に「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を設立し、以下の活動方針等に基づき各事業を実施した。

- 豊かな海づくりを県民総参加の運動へと発展させていくために、行政、企業、NPO、関係団体など多様な主体が取り組む豊かな海づくり活動のネットワーク化、団体相互の情報共有や活動の連携が重要である。
- 県民会議設立年度の令和5年度は、プラットフォーム機能[※]の基盤を固めるとともに、推進大会の開催など、豊かな海づくりに向けた課題解決に会員みんなで取り組む体制づくりを進める。

※ プラットフォーム機能の発揮

- 各会員は豊かな海づくり活動を主体的かつ積極的に実施。
- 県民会議では会員間の豊かな海づくりに関する課題を共有し、連携しながら課題解決を図る。
- また、各会員活動の情報共有、会員間のマッチングや連携して行う取組を支援し、さらなるニーズや課題の掘り起こしを図る。
- さらに、県民総参加へ向けた情報発信を実施。

豊かな海づくりに関する取組推進（県）

- ・ 貧栄養化した海への栄養塩類供給の可能性検討
- ・ ノリのブルーカーボンとしての可能性検討
- ・ 藻場拡大とブルーカーボンクレジットの活用検討
- ・ 海洋プラスチックごみ問題

2 事業内容

(1) パネルディスカッションの開催

令和5年7月27日の総会後に「パネルディスカッション～ひょうごの豊かな海づくり×フィールドパビリオン～」を開催し、豊かな海づくりを県民総参加の取組にしていくための方策を県民会議の会員とともに考える機会を設けた。



ひょうご豊かな海づくり×フィールドパビリオン

コーディネーター



上西 典幸
株式会社 神戸新聞社
経営企画部
専任部長 編集委員
辻本 一好
朝刊連載
「風と水と土と
ひょうご
テロワール」

パネラー



訪勢漁業協同組合 参事
上西 典幸
訪勢島「漁業見学&体験ツアー」
株式会社 淡路島観光ホテル 代表取締役
上村 早苗
旅館が提供する「日本文化×海体験」
兵庫県観光工業組合 副理事長
足立 哲宏
豊岡朝「製作体験×漁網再生SDGs」
兵庫県環境部 部長
菅 範昭
県「豊かで美しいひょうごの里海づくり」



パネルディスカッションの様子

(2) ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催

団体、企業、学生等による豊かな海づくり活動の取組事例発表、豊かな海づくりに関する展示など、大会のレガシーが色あせることがないよう会員や県民が広く参加する推進大会を開催した。

開催時期については、令和5年は瀬戸内海環境保全特別措置法が制定されてから50年となるため、同周年事業と連携し、全国豊かな海づくり大会を開催した11月に実施。

日 時：令和5年11月11日(土)

場 所：神戸ポートアイランド市民広場

来場者：500人

なお、(株)神戸新聞社、兵庫県漁業協同組合連合会、(公社)瀬戸内海環境保全協会、多木化学(株)、兵庫ダイハツ販売(株)のご協力により、令和5年11月29日付神戸新聞に推進大会開催の特集記事を掲載。

〈当日の様子〉



集合写真



出展ブース



ステージイベント



画廊での展示

(3) 豊かな海づくり活動の更なる県民への広がり支援（企業版ふるさと納税活用）

豊かな海づくり活動に取り組む団体に対し、補助金を交付した。今年度は6団体による事業を採択し、豊かな海づくり活動への県民参加の機会を設けることができた。

〈事業例（抜粋）〉



アマモ場づくり



再生漁網を活用したワークショップ

相生湾自然再生学習会議
明石おさかな普及協議会
NP0 法人神戸海さくら
一般社団法人 neo-wave
合同会社パールコネクション
株式会社ワールド・ワン

補助金交付団体

(4) 豊かな海づくり啓発活動の実施

従来から、「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」が各種団体と連携して取り組んできた「豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト活動」による県民への啓発活動を実施した。【詳細別紙】

① 出前おさかな講習会

県内の小中学校 32 校（58 講座/1,825 名）で豊かな海の出前講習会及び調理実習等を実施した。

② 豊かな海みんなで大実験

児童、生徒や一般県民をターゲットとした学びの場として、豊かな海づくりの理解促進につながる県民参加型イベントを実施した。

- ・虹の仲間で海づくりの開催
- ・漁業体験見学船「第八ふじなみ」での漁場見学等の実施

③ 豊かな海 PR 活動

県内各地で開催されるイベントに出展し、パネル展示や豊かな海に関するクイズ等により兵庫の漁業や魚、豊かな海についての啓発に取り組んだ。

(5) 広報活動

① ひょうご豊かな海づくり県民会議ロゴマークの制作

県民会議や構成団体が取り組む活動はもとより、「豊かな海づくり活動」を広く県民にアピールできるロゴマーク※を制作した。

※ 全国豊かな海づくり大会にあわせて作成したはばタンを活用



県民会議はばタン



文字ロゴ

② ホームページ等を活用した広報及び会員の募集

構成員間の情報共有を促進し、県民への発信力を高めるため、ホームページを活用し、豊かな海づくりに係る取組を発信するとともに、会員獲得（75→130 団体：令和 6 年 3 月 31 日現在）に努めた。なお、会員活動を紹介するページについては掲載団体を募集中。



ホームページ <https://hyogoyutaumizukuri.wixsite.com/official>



③ ふるさとひょうご寄附金等の獲得

豊かな海づくり活動を円滑に実施できるよう寄附金等の獲得に努めた。

企業版ふるさと納税による寄附は4者から合計260万円、個人版ふるさと納税は合計160万円を超える寄附額となった。

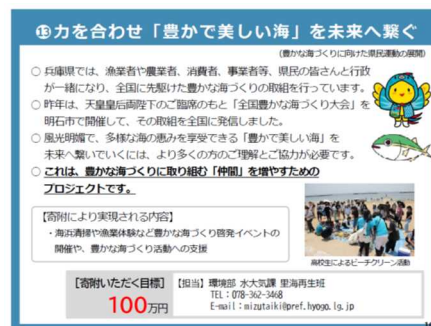
また、横河電機（株）からデジタルサイネージを貸与いただき、県民会議のPRに活用した。



デジタルサイネージによるPR

富士貿易（株）
三井住友海上火災保険（株）
ブルースタイル沖縄（株）
（株）JTC

企業版ふるさと納税寄附者



企業版ふるさと納税PR資料

④ 広報資材の作成

豊かな海PR活動等で活用するため横断幕やのぼり、シールなど必要な資材を作成した。

ボールペン	のぼり	ウェットティッシュ
		裏：台紙文字ロゴ印刷

⑤ 全国豊かな海づくり大会兵庫大会テーマソング

「いのちをつなぐ碧い海（作詞・作曲：植村 花菜）」の活用
〈活用実績〉

- ・県民会議（事務局、推進大会、イベント出展時）
- ・瀬加小学校3年生による学習発表会
- ・瀬戸法制定50周年記念式典



令和5年度収支決算（案）

自 令和5年7月27日

至 令和6年3月31日

1 収入の部

（単位：円）

科 目	予算額 ①	決算額 ②	差引 (②－①)	摘 要	
分担金	6,600,000	6,600,000	0	兵庫県漁業協同組合連合会	2,500,000
				(公財)ひょうご環境創造協会	500,000
				兵庫県（ふるさとひょうご寄附金含む）	3,600,000
収入計	6,600,000	6,600,000	0		

2 支出の部

（単位：円）

科 目	予算額 ①	決算額 ②	差引 (②－①)	摘 要	
ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催	2,000,000	1,743,844	△ 256,156	会場使用料、会場設営費、印刷費、旅費、謝金等	
豊かな海づくり活動の更なる県民への広がり支援	500,000	477,608	△ 22,392	3団体程度→6団体	
豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト活動	2,500,000	2,501,330	1,330	ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会に委託	
出前おさかな講習会の実施				調理実習用魚購入費、講師謝金、交通費 等	
豊かな海みんなで大実験				イベント開催経費 等	
豊かな海PR活動				行事出展に係る資材購入費 等	
広報活動	700,000	499,296	△ 200,704	ロゴマーク制作、チラシ・ステッカー印刷費、ノベルティグッズ製作費 等	
大会テーマソング使用料	110,000	110,000	0	植村花菜「いのちをつなぐ碧い海」	
総会及びコアメンバー会議の開催	700,000	407,318	△ 292,682	会場使用料、資料印刷費、出席者旅費、謝金 等	
予備費	90,000	8,580	△ 81,420	県民会議公印製作費	
支出計	6,600,000	5,747,976	△ 852,024		

【決算額】

収 入 6,600,000円

支 出 5,747,976円

繰越金 852,024円

監 査 報 告 書

ひょうご豊かな海づくり県民会議規約第 11 条の規定により、令和 5 年度収支に関する証拠書類及び諸帳簿について監査した結果、適正に処理されていることを認め、報告します。

令和 6 年 5 月 9 日

ひょうご豊かな海づくり県民会議

監 事 生活協同組合コープこうべ組合長理事

岩山 利久

監 事 明石市産業振興部長

請井 孝博

令和５年度 豊かな海づくり啓発活動業務結果報告書

豊かな海づくり啓発活動

(１) 出前おさかな講習会

県内小中学校を対象に、県産魚を使った調理実習、動画・漫画・パンフレットなどを活用した豊かな海に関する講習会を行いました。

実施期間：令和５年９月～令和５年１２月

実施回数：３２校 ５８講座

受講者数：１，８２５名



9/20 上郡町立野里小学校



10/19 加西市立北条東小学校



11/15 洲本市立州浜中学校

(２) 豊かな海みんなで大実験

① 虹の仲間で海づくりの開催

コープこうべと連携し、ひょうごの魚や漁業、豊かな海について学ぶ体験イベント「虹の仲間で海づくり」を開催して、体験を通じた「豊かな海」の学びの場を提供しました。

開催日時：令和５年１１月１９日（日）１０：００～

開催場所：大蔵海岸公園（明石市大蔵海岸通り）

参加者数： ９３名

内 容： ○施肥及びアサリ稚貝の放流
○海浜清掃・水中ドローンでの海中観察
○交流会（昼食を交えて）



集合写真



施肥及びアサリ稚貝の放流



水中ドローンによる海中観察

② 漁業体験見学船「第八ふじなみ」での漁場見学等の実施

坊勢漁協と連携し、漁業体験船「第八ふじなみ」を活用した漁業体験プログラムを実施しました。

実施期間：令和5年8月～令和5年11月

実施回数：12回

対象者：コープこうべ組合員及び職員、一般消費者等 計294名

内容：定置網、底びき網漁業の見学、漁獲物選別体験などを実施。



定置網漁獲作業見学



船上での漁獲物選別作業体験



JF 坊勢 中間育成施設見学

(3) 豊かな海 PR 活動

豊かな海関連イベントでのパネル展示やパンフレットを配布し、豊かな海への取り組みの普及啓発を行った。

① うみかぜ音楽祭への出展

開催日時：令和5年10月1日（日）10:00～16:00

開催場所：兵庫県立舞子公園 園内特設会場



JF 兵庫漁連ブース



エビ釣り



タッチ水槽

② 兵庫県民農林漁業祭への出展

開催日時：令和5年10月14日（土）、15日（日）9:00～15:00

開催場所：明石公園千畳敷広場



JF 兵庫漁連 ブース



JF 兵庫漁連 ブース



チラシ

- ③ 第1回ひょうご豊かな海づくり推進大会への出展
 開催日時：令和5年11月11日（土）11:00～15:00
 開催場所：神戸ポートアイランド市民広場
 参加者：約500名



11/11 豊かな海づくり推進大会



11/11 豊かな海づくり推進大会



推進大会のチラシ

- ④ ひょうごおさかなフェスタ 2023
 開催日時：令和5年12月23日（土）10:00～15:30
 開催場所：コアキタマチショッピングセンターIF セントラルコート
 （神戸市北区日の峰2丁目6番）



開会挨拶



漁連ブース



会場全景



タッチプール



JF 但馬ブース



会場の賑わい

⑤ 県立水産技術センターの展示施設等を活用した水産教室

兵庫の水産業や豊かな海への取り組み、最新の研究成果等を展示しているエントランス、見学者用映像及びふれあいプールを活用し、社会見学に訪れる小学生等に対し、豊かな海づくりや魚食普及に関する水産教室を実施した。

実施期間：令和5年8月～令和6年2月

来場者数：2,477名



エントランス



ふれあいプール



ひょうごのお魚屋さん

⑥ 広報資料の作製

チラシ「豊かな海ってどんな海??」の増版とパンフレット「豊かな海のミクロ世界探検」を作製し、パートナーイベント等で広く一般消費者へ配布した。

2023年度 出前お魚講習会実施校一覧表

No.	学校名	実施日	学年	クラス数	受講者数	開催日数
1	丹波市立船城小学校	9/6	6	1	11	1
2	姫路市立豊富小中学校	9/14	5	2	62	1
3	宝塚市立九橋小学校	9/15	5	2	76	1
4	三木市立平田小学校	9/19	6	2	70	1
5	上郡町立山野里小学校	9/20	6	1	33	1
6	淡路市立中田小学校	9/22	6	1	18	1
7	三田市立富士中学校	9/26	2	2	76	1
8	宍粟市立山崎東中学校	9/26	1	2	78	1
9	稲美町立母里小学校	9/28	6	1	40	1
10	西脇市立黒田庄中学校	10/3	2	2	54	1
11	明石市立明石小学校	10/4	6	2	82	1
12	尼崎市立わかば西小学校	10/6	6	2	66	1
13	加古郡稲美町立稲美中学校	10/11・18	2	3	117	2
14	猪名川町立清陵中学校	10/11・12	2	3	84	2
15	姫路市立四郷学院	10/17	8	2	54	1
16	加西市立北条東小学校	10/19	5	2	54	1
17	相生市立相生小学校	10/23	5.6	1	9	1
18	洲本市立洲本第二小学校	10/26	5	1	22	1
19	川西市立北陵小学校	10/27	5	2	76	1
20	神河町立神崎小学校	10/30	6	2	42	1
21	加西市立西在田小学校	10/31	5.6	1	27	1
22	高砂市立鹿島中学校	10/31、11/1	1	4	148	2
23	加古川市立平荘小学校	11/2	5	1	24	1
24	姫路市立琴陵中学校	11/2・7	2	3	108	2
25	伊丹市立神津小学校	11/7	6	1	35	1
26	尼崎市立浦風小学校	11/8	6	1	34	1
27	猪名川町立つつじが丘小学校	11/9	5	2	72	1
28	川西市立清和台小学校	11/9	5	2	46	1
29	洲本市立州浜中学校	11/15	1	1	41	1
30	朝来市立枚田小学校	11/30	5	2	46	1
31	宝塚市立美座小学校	12/5	6	2	66	1
32	加東市立東条学園小中学校	12/13	2	2	54	1
合計	32 校			58 講座	1,825 名	36 日

ひょうご豊かな海づくり県民会議 令和6年度事業計画（案）

1 活動方針

- 県民会議設立年度の令和5年度に引き続いて、プラットフォーム機能^{※1}の基盤を固めるとともに、推進大会の開催など、豊かな海づくりに向けた課題解決に会員みんなで取り組む体制づくりを進める。
- また、大阪湾MOBAリンク構想の実現を目指して大阪府とともに設立（令和6年1月）した大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス〈MOBA〉^{※2}と連携して藻場づくりや情報発信を推進する。

※1 プラットフォーム機能の発揮

- 各会員は豊かな海づくり活動を主体的かつ積極的に実施。
- 県民会議では会員間の豊かな海づくりに関する課題を共有し、連携しながら課題解決を図る。
- また、各会員活動の情報共有、会員間のマッチングや連携して行う取組を支援し、さらなるニーズや課題の掘り起こしを図る。
- さらに、県民総参加へ向けた情報発信を実施。

豊かな海づくりに関する取組推進（県）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ・貧栄養化した海への栄養塩類供給の可能性検討 | ・ノリのブルーカーボンとしての可能性検討 |
| ・藻場拡大とブルーカーボンクレジットの活用検討 | ・ブルーカーボンシンポジウム（6月） |

※2 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス

〈Members of the Osaka bay Blue carbon ecosystem Alliance〉

- ブルーカーボン生態系の回廊（コリドー）で大阪湾沿岸をつなぐ「大阪湾 MOBA リンク構想」の実現に向け設立。
- 様々な関係機関・団体等が主体的、かつ、連携して藻場創出や情報発信、普及啓発等実施。
- 兵庫県は県民会議にMOBA部会を設けて推進。



2 事業内容

(1) ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催

団体、企業、学生等による豊かな海づくり活動の取組事例発表、豊かな海づくりに関する展示など、大会のレガシーが色あせることがないよう会員や県民が広く参加する推進大会を開催する。

兵庫県民農林漁業祭に推進大会ブースを設けて開催することとし、10月19日（土）～20日（日）（予定）に県立明石公園にて実施する。

推進大会プログラム(案)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・県民会議の取組発表
（リゾブルーカーボン取組状況、MOBA関連情報等） ・豊かな海づくりに関する展示 ・子どもたちの取組発表（絵画、絵本等作品の展示） ・海を感じるワークショップ ・水産物販売 など |
|--|

(2) 豊かな海づくり活動の更なる県民への広がり支援（企業版ふるさと納税活用）

豊かな海づくり活動に取り組む会員等が実施する、ひょうごの豊かな海づくりに資する県民参加型の取組や研究活動、グリーンインフラやブルーインフラを軸とする里山・里海づくりを支援する。

(3) 豊かな海づくり啓発活動の実施

従来から、「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」が各種団体と連携して取り組んできた「豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト活動」による県民への啓発活動を、引き続き実施する。

① 出前おさかな講習会

県内の小中学校 40 校程度で豊かな海の出前講習会及び調理実習等を実施する。

② 豊かな海みんなで大実験

児童、生徒や一般県民をターゲットとした学びの場として、豊かな海づくりの理解促進につながる県民参加型イベントを実施する。

③ 豊かな海 PR 活動

県内各地で開催されるイベントに出展し、パネル展示や豊かな海に関するクイズ等により兵庫の漁業や魚、豊かな海についての啓発に取り組む。

(4) 広報活動

- ① 県民会議ロゴマーク及び全国豊かな海づくり大会兵庫大会テーマソングの活用
令和 5 年度に制作したロゴマーク及び全国豊かな海づくり大会兵庫大会テーマソング「いのちをつなぐ碧い海」を活用した広報活動を展開。



県民会議はばタン



文字ロゴ

② ホームページ等を活用した広報及び会員の募集

引き続き、構成員間の情報共有を促進し、県民への発信力を高めるため、ホームページや SNS を活用し、豊かな海づくりに係る取組を発信するとともに、会員獲得に努める。

③ ふるさとひょうご寄附金等の募集

豊かな海づくり活動が引き続き実施できるよう寄附金等の獲得に努める。また、横河電機（株）から貸与いただいたデジタルサイネージを活用し、県民会議の PR に努める。

令和 6 年度収支予算（案）

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

1 収入の部

科 目	予算額	摘 要	
負担金及び補助金	6,500,000	兵庫県漁業協同組合連合会	2,500,000
		(公財)ひょうご環境創造協会	500,000
		兵庫県（ふるさとひょうご寄附金含む）	3,500,000
繰越金	852,024	前年度からの繰越金	
諸収入	0	寄附金等	
収入計	7,352,024		

2 支出の部

科 目	予算額	摘 要	
ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催	1,800,000	会場使用料、会場設営費、印刷費、旅費、謝金 等	
豊かな海づくり活動の更なる県民への広がり支援	1,500,000	10団体程度	
豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト活動	2,500,000	ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会に委託	
出前おさかな講習会の実施		調理実習用魚購入費、講師謝金、交通費 等	
豊かな海みんなで大実験		イベント開催経費 等	
豊かな海PR活動		行事出展に係る資材購入費 等	
広報宣伝費	800,000	チラシ・ステッカー印刷費、ノベルティグッズ製作費、大会テーマソング使用料、HP運営 等	
県民会議運営費 （総会・コアメンバー会議・MOBA部会）	500,000	会場使用料、資料印刷費、出席者旅費、謝金 等	
事務局運営費	252,024	消耗品費、交通費、予備費 等	
支出計	7,352,024		

ひょうご豊かな海づくり県民会議 令和5年度 活動実績

		県民会議	海づくり活動
令和5年度	前年度まで	・設立趣意書（案）、規約（案）の作成 第1回設立準備会合（趣意書・規約の協議、調整）	全国豊かな海づくり大会 豊かな海を未来に繋ぐプロジェクト 各団体、企業等の活動
	4月	・総会議案の作成 第2回設立準備会合（総会議案の協議）4/28	個別に活動  
	5月	・設立会員への事前説明	
	6月	・設立会員入会依頼	
	7月	設立総会（規約、R5事業計画、コアメンバー決定）7/27	連携促進  
	8月	・豊かな海づくり啓発活動開始 ・ロゴマーク作成 ・HP、SNS等を活用した広報	
	9月	・豊かな海づくり活動支援事業募集開始 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式 9/22	
	10月	第1回コアメンバー会議 10/3 Techno-Ocean2023出展 10/5～7 ・活動支援事業採択者決定、広報資材作成 ひょうご里山フェスタ出展 10/22	パネルディスカッション （豊かな海づくり×フィールドパビリオン） 第1回ブルーカーボン連絡会議 8/7 ノリブルーカーボン勉強会 8/24 出前おさかな講習会開始 第1回ノリブルーカーボン検討会 9/21 うみかぜ音楽祭 10/1 兵庫県民農林漁業祭 10/14・15
	11月	ひょうご豊かな海づくり推進大会 11/11 ※知事・市長会議と連携して開催 ・パネル展示及び交流会（会員の取組発表、ひょうごの海の課題解決の取組紹介） ・展示（子ども達の制作作品、海洋環境保全関係）・ワークショップ など	
	12月	全国なぎさシンポジウム出展 11/16 全国漁港漁場整備技術研究発表会出展 11/16・17	虹の仲間で海づくり 11/19 第2回ブルーカーボン連絡会議 12/14 ユースECOフォーラム 12/23 ひょうごおさかなフェスタ2023 12/23
	1月	大阪湾ブルーボン生態系アライアンス(MOBA)設立 1/24	取組拡大 ・ホームページに会員の活動紹介を掲載開始 ノリブルーカーボン意見交換会 3/21 第3回ブルーカーボン連絡会議 3/26
	2月	フィッシングショーOSAKA出展 2/3・4	
	3月	・広報資材作成 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式 3/18 Jブルークレジット発行証書交付式 3/19 （須磨海岸におけるブルーカーボン5.5t-CO2）	

ひょうご豊かな海づくり県民会議 令和6年度スケジュール

		県民会議	海づくり活動
令和6年度	4月	コアメンバー会議（R5事業報告、R6実施計画協議） 4/16 ・総会議案の作成 スタートアップミーティング	豊かな海づくり啓発活動の開始 各団体、企業等の活動支援公募
	5月	MOBAキックオフ会議 5/8 県民会議第2回総会（R5事業報告、R6実施計画決定） 5/21	【講演】豊かな海づくりに関する県民意識調査 各団体、企業等の活動支援決定
	6月	MOBAワーキング始動	ブルーカーボンシンポジウム 6/25 (豊かな海づくり×JPLクレジット)
	7月		
	8月	必要に応じてコアメンバー会議（個別事業の実施決定）	
	9月		
	10月	ひょうご豊かな海づくり推進大会 ※兵庫県民農林漁業祭と同時開催 19～20日 ・パネル展示及び交流会（会員の取組発表、ひょうごの海の課題解決の取組紹介） ・展示（子ども達の制作作品、海洋環境保全関係） ・体験（水族館、ワークショップ） など	
	11月		
	12月		ひょうごユースecoフォーラム
	1月		
	2月		
	3月	コアメンバー会議（R6事業報告、R7実施計画協議） 県民会議第3回総会（R6事業報告、R7実施計画決定）	
次年度以降			

令和6年度ひょうご豊かな海づくり県民会議事業

(1) ひょうごブルーカーボンシンポジウム

広く県民に周知し、ブルーカーボンに関する取組を紹介することで、県内での取組の活性化につなげる。

【開催日】令和6年6月25日（火）

【場所】ひょうごはじまりの館（神戸市兵庫区中之島2丁目2-1）

【対象者】一般参加 会場140名、WEB配信予定

【主催】兵庫県、神戸市、ひょうご豊かな海づくり県民会議

【プログラム】



11:00

開場

13:00

・開会挨拶

13:05

・国土交通省におけるブルーカーボンとブルーインフラの取り組み

13:35

・神戸市（空港島、兵庫運河、須磨海岸等）の取組み紹介

14:05

・周南市の取組み紹介

14:35

・鳥取県の取組み紹介

休憩（15:05～15:15）

15:15

・ブルーカーボンの将来展望（港湾空港技術研究所）

15:45

・大阪府の取組み紹介（MOBA・府内事例（阪南市等））

16:05

・兵庫県の取組み紹介（ノリプロジェクト、県内事例）

16:30

・閉会

ブルーカーボン
の取組について
ポスター展示



令和6年度ひょうご豊かな海づくり県民会議事業

(2) 豊かな海づくり活動支援事業

兵庫県内で豊かな海づくり活動に取り組む団体を支援し、県民総参加での豊かな海づくりを目指す。

【募集期間】

令和6年4月19日(金)～令和6年5月24日(金)

【内 容】

補助対象者	県民会議の会員もしくは 会員が含まれる団体
補助対象活動	清掃活動 イベント開催・出展 普及啓発・PR活動 ブルーカーボン・グリーンカーボンの保全
補助金の額	上限20万円(定額)
助成団体数	10団体程度

令和6年度 \ 応募開始! /

ひょうご豊かな海づくり県民会議
豊かな海づくり活動支援事業補助金

**兵庫県内で豊かな海づくり活動に
取り組む団体に対する補助金です。**

清掃活動

イベント開催・出展

普及啓発PR活動

補助上限
1団体
20万円

NEW!

ブルーカーボン・グリーンカーボンの保全

補助対象経費

- ・物品購入費 ・印刷製本費 ・広報費(HP制作、PR資材制作等)
- ・賃借料 ・保険料 ・謝金、交通費 ・通信費 ・会場設営費
- ・その他経費(イベント出展、調査研究にかかる経費など)

※補助対象外経費については交付要綱をご覧ください。

団体要件

- (1) 県民会議の会員もしくは会員が含まれる団体であること。
- (2) 兵庫県内に活動拠点があること。
- (3) 政治的活動又は宗教活動を目的としない団体であること。
- (4) 今後も継続した活動が見込まれる団体であること。

**申請書提出〆切
令和6年5月24日(金)**

【お申込み・お問い合わせ】

ひょうご豊かな海づくり県民会議事務局(兵庫県環境部水大気課内)

TEL 078-362-3468
FAX 078-362-3966
Mail mizutaiki@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご豊かな海づくり県民会議

検索

交付要綱および様式は上記HPからダウンロードできます。

企業版ふるさと納税で兵庫県を応援してください！

○ 企業版ふるさと納税とは？

- ・企業が地方公共団体の地方創生の取組に寄附を行った場合に税額控除を行うものです。
- ・兵庫県への寄附を通じ、SDGsの推進や地域活性化等に貢献し、株主からの信頼度や企業イメージを向上できます。

※本制度を活用して兵庫県に寄附ができるのは
兵庫県外に本社がある企業です。



○ 税務上の高いメリット

- ・実質的な企業の負担が寄附額の約 1 割まで圧縮されます。

○ 「力を合わせ『豊かで美しい海』を未来へ繋ぐプロジェクト」に寄附をお願いします！

- ・環境保全団体が行うアマモ場の創出活動などブルーカーボン生態系の創出に関する支援にも役立てられます。

② 豊かな海づくり活動の推進

（力を合わせ『豊かで美しい海』を未来へ繋ぐプロジェクト）

- これは、豊かな海づくりに取り組む「仲間」を増やすためのプロジェクトです。
- 兵庫県では、漁業者や農業者、消費者、事業者等、県民の皆さんと行政が一緒にあり、全国に先駆けた豊かな海づくりの取組を行っています。
- 令和5年度には、「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を設立し、全国豊かな海づくり大会での機運醸成を一過性のものに終わらすことなく、豊かな海づくりに向けた取り組みの輪をさらに広げ、その姿を力強く発信し続けています。
- 次代を担う子ども達をはじめ多くの県民に多様な海の恵みを楽しむことができる「豊かで美しい海」を未来へ繋いでいくためにも、皆様のご協力をお待ちしています。



ひょうご
豊かな海
づくり
県民会議

【寄附により実現される内容】

- ・海浜清掃や漁業体験など豊かな海づくり啓発イベントの開催
- ・その他豊かな海づくり活動団体の支援
- ・ブルーカーボンへの取組に対する支援
- ・陸域(植樹やかいもり等)での取組の支援



豊かな海づくり啓発イベントの開催



小学生によるアマモ場の創出